令和７年度「＃あおばな in 柏木農業高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

〇日時：令和７年 10 月 14 日（火）１５：００～１６：２０
〇場所：県立柏木農業高等学校　果樹園
〇参加生徒：生物生産科　４６名

＜生徒との意見交換＞

知事と生徒の皆さんが以下の内容について対話しました。

①農業分野の大学や研究機関の役割
②農業者等の所得向上
③青森県の人口減少対策
④青森県産りんごの輸出戦略
⑤苗木増産に対する支援

※知事から生徒の皆さんへのコメントの一部を紹介します。

・これから人口減少で担い手が不足すると、農業も産業として小さくなってしまう懸念もある中で、皆さんは青森県の未来の農業を支える人材だと思っている。
・皆さんは、学校生活の中で、生き物や気候を相手にしていて、それはすごく大変なことだけど、価値のあることで、未来にも繋がっている。これから農業や農業以外の夢に向かっていく中で、いろんな壁や大変なことがあると思う。でも、皆さんが今日の対話の中で感じ取ってくれたことを大切にしていけば、きっといい未来が待っていると思う。
・友達や親御さん、信頼できる先生たち、そして、りんごや農作物とも対話をしながら、これからもすばらしい学校生活を送ってほしいし、すばらしい人生を送ってほしい。
・青森県、そして日本の農業のために、一緒に頑張っていきましょう。